

## 【テーマ③】町民の健康を増進し、世界遺産・知床の玄関口で広域的な防災力を高める地域エネルギー活用型寒冷地フェーズフリー拠点の形成調査

【調査主体】北海道斜里町(人口1.0万人)

### 調査目的・概要

- ・地域の温泉源を活用し、積雪寒冷期における平常時と非常時をシームレスに繋ぐフェーズフリーな健康・交流・防災拠点を形成するための事業手法を検討する。
- ・本町が抱える①高齢化が進む町民の健康増進、②地域産業を支える外国人との交流、③世界自然遺産・知床への観光客も対象とした積雪寒冷地での広域的な防災機能の強化の解決に向け地域エネルギー活用型「寒冷地フェーズフリー拠点」の形成に向けて、その実現可能性の可否とともに官民連携型の事業手法を明らかにする。

### 調査内容・スケジュール

#### 【本調査の内容】

- ①初期市場調査としての「現地説明とヒアリング調査」を実施する。
- ②「町民や来訪者、事業者への意見聴取」結果を踏まえ、事業プログラムを検討する。
- ③事業プログラムをもとに、事業参画に意欲ある事業者への**具体的事業条件を提示した上での「サウンディング調査」**を通して、事業手法等を検討する。
- ④町内企業等との協議を重ねる。

#### 【本調査の先導性】

- ・本調査は、「積雪寒冷地の国際的観光地におけるフェーズフリー拠点の形成」を目指すものである。
- ・その拠点では、温泉熱を暖房用熱源として活用し、日常時のみならず、非常時、特に冬期の停電・国道遮断時でも機能するとともに、日常的な外国人との交流が非常時の共助に繋がる、といったハード・ソフトが一体となった「フェーズフリーシステム」を構築することが先導的と考えている。

#### 【ハードとソフトが一体となった官民連携のための調査】

- ・地域が抱える課題(前述)の解決に向け、必要な資源(温泉源のある土地等)の活用と現時点では十分ではない環境(外国人との交流環境等)の育成を図るハードとソフトが一体となった官民連携の手法と仕組みを検討する調査とする。

#### 【事業への期待】

- ・世界自然遺産・知床の観光客の立ち寄りやスポーツ関連イベントの実施等による持続可能な収益モデルの構築を重視した複合拠点開発の可能性の検討
- ・コンテナハウス等の滞在施設の導入による要配慮者や広域での避難者の支援体制構築による町民・観光客の安心感や安全性の向上
- ・公共施設の複合化と官民連携型事業手法によるLCC削減や財政負担軽減の効果検証

調査スケジュール

調査内容	6月	8月	10月	12月	2月
計画準備	■				
事業プログラムの整理		■			
事業手法の検討			■		
今後の課題整理				■	
庁内・関係機関協議	■	■	■	■	■

## 【テーマ③】町民の健康を増進し、世界遺産・知床の玄関口で広域的な防災力を高める地域エネルギー活用型寒冷地フェーズフリー拠点の形成調査

【調査主体】北海道斜里町(人口1.0万人)

### 事業・施設の概要

- ・本町が抱える課題(①高齢化が進む町民の健康増進 ②地域産業を支える外国人との交流 ③世界自然遺産・知床への観光客も対象とした積雪寒冷地での広域的な防災機能の強化)の解決に向け、地域の温泉源を活用し、積雪寒冷期における平常時と非常時をシームレスに繋ぐフェーズフリーな健康・交流・防災拠点を形成する。
- ・対象地は、市街地周辺で未利用温泉源を有する土地とし、これまでの町民や事業者との意見交換結果を踏まえて検討した候補地ごとの特色ある施設概略案(スポーツ特化型や広域対応型など)を基本に構想を策定する。
- ・事業は、民間事業者の資金や運営ノウハウを活用した整備と平時と緊急時のシームレスな運営を可能とするスキームとする。

#### ■ 候補地と整備概略案



候補地1 既存民間施設をリニューアルし一部増築

候補地2 国保病院の建替えに併せて新設

候補地3 プールの建替えに併せて新設

候補地4 民有地に複合施設を新設

#### ■ 導入機能イメージ

##### 温浴・サウナ機能



##### 交流・コミュニティ機能



##### カフェ・シェアキッチン



##### ガーデントレーラーハウス



### 事業・施設の課題

- 1 「健康・交流・防災拠点」の施設に関する課題
  - ・施設については、①各世代で求められる多様な健康増進サービス(温浴、サウナ、ジムなど)機能、②多文化共生のための機能、③要配慮者等を含む広域避難機能を整理した上で、官民の役割分担に即した構想策定が課題である。特に、冬期の停電や孤立時に備え、温泉源を「暖房用熱源」として活用し、自家発電機と組み合わせたエネルギー活用システムを、整備コストと維持管理リスクを抑制しつつ構築する必要がある。
- 2 「健康・交流・防災拠点」の事業に関する課題
  - ・事業については、①温泉源を有する土地所有者との交渉、②本事業に必要な地域エネルギー活用型複合施設の建設や健康・交流関連施設の運営などの分野で実績のある民間事業者等との協業体制の構築、③行政の財政状況や民間事業者の裁量・リスクなどを考慮した持続可能な官民連携のための事業構造・スキームの検討が課題である。

### 検討経緯／事業化スケジュール

R1～2年度	町営温浴施設が相次いで休業
R4年度	斜里町公共施設等総合管理計画を改訂
R6年度	「複合公共施設(温浴)建設事業」の検討開始 複合公共施設(温浴)に関する町民アンケート調査を実施
R7年度	複合公共施設(温浴)に関する基本構想策定 (町民ワークショップ、事業者意見交換会の実施)
<b>R8年度</b>	<b>複合公共施設整備に係る官民連携の実現可能性の検討</b>
R9～10年度	基本計画策定・PFI等導入可能性調査
R10～11年度	公募準備・事業者選定・契約締結
R12～14年度	基本設計・実施設計・工事
R15年度	複合公共施設の開業